

第53回宮様チャリティーボウリング大会 大会要項

開催日	2019年11月30日（土）～12月1日（日）
会場	品川プリンスホテルボウリングセンター
主催	公益社団法人日本ボウリング場協会
協力	社会福祉法人友愛十字会 公益社団法人日本プロボウリング協会 公益財団法人全日本ボウリング協会 日本ボウラーズ連盟 全国実業団ボウリング連盟
協賛	江崎グリコ株式会社 日本ボウリング商工会 他
主管	関東ボウリング場協会

開催要項

大会名称：第53回宮様チャリティーボウリング大会
主催：公益社団法人日本ボウリング場協会
協力：社会福祉法人友愛十字会・公益社団法人日本プロボウリング協会・
公益財団法人全日本ボウリング協会・日本ボウラーズ連盟・全国実業団ボウリング連盟
協賛：江崎グリコ株式会社・日本ボウリング商工会 他
主管：関東ボウリング場協会
中央大会期日：2019年11月30日（土）～12月1日（日）
中央大会会場：品川プリンスホテルボウリングセンター（BW80）
〒108-8611 東京都港区高輪4-10-30
TEL 03-3440-1116 FAX 03-5421-7877

1. 中央大会参加資格：

公益社団法人日本ボウリング場協会加盟センターの会員で、地区及び都道府県ボウリング場協会より選抜または推薦された選手。団体推薦選手。（プロボウラーは除く）

2. 競技種目：

一般男子の部・一般女子の部・障害者男子の部・障害者女子の部

3. 地区選抜 及び 都道府県選抜：

- イ. 各地区及び各都道府県ボウリング場協会単位にて選手を選抜する。
- ロ. 選抜の有無にかかわらず、参加全選手より1名につき500円のチャリティー金を徴収する。また、全国の会員センターへは、公益社団法人日本ボウリング場協会よりチャリティー金の募金を依頼する。チャリティー金の献金先は社会福祉法人友愛十字会とする。
- ハ. 地区選抜及び都道府県選抜の日時・競技会場は各地区及び都道府県協会において決定する。
- ニ. 各地区及び都道府県協会は選抜大会の結果に基づき中央大会参加者を、センター名・参加費・チャリティー金を添えて、10月25日（金）迄に、主管事務局・関東ボウリング場協会に申し込むこと。

4. 中央大会：【障害者の部においては、下記イ・ロ・ハ・ニは該当しない】

- イ. 中央大会の参加資格は、公益社団法人日本ボウリング場協会加盟センターの会員で、地区及び都道府県協会より選抜または推薦された選手に限る。但し、JBC・NBF・ABBF各団体より男女各5名は推薦選手枠を与え、予選会を免除し中央大会に参加できる。
- ロ. シフトは、東京・神奈川はAシフト、その他の都道府県協会並びに招待選手はBシフトとする。（ただし参加者の増減により、シフト変更の可能性あり）また、各団体推薦選手のシフトについては別途知らせる。
- ハ. 一般男子の部・一般女子の部は予選8ゲームの競技（1ゲームレーン移動）を行い、男子上位45名及び女子上位35名を選抜して、準決勝4ゲームの競技（1ゲームレーン移動）を行い男女共に上位10名を選抜する。その後、男女同時進行にてシュートアウト方式にて7位から10位の選手で1ゲーム行い1名を選出し、続いて、2位から6位の選手に7位から10位の進出者を加え1ゲーム行い優勝決定戦進出者を決定する。優勝決定戦は1位通過者と1ゲームマッチを行う。
- ニ. 選手はBPAJ加盟センター名又は個人名入りのユニフォームを着用のこと。ネームなき場合は失格として出場できない。
- ホ. 障害者の部はボウリング・クリニック終了後、2ゲームトータルピンにて男女別に順位を決定する。その後に、プロボウラー・引率者・障害者代表とのスカッチトリオ戦を実施する。
※前年度の上位入賞者で今年一般の部に参加する選手は、同年の障害者の部への参加は認めない。

5. 中央大会褒賞：

- イ. ① 一般男子の部 優勝(寛仁親王牌) ～ 第10位、H/G賞・H/S賞
 ② 一般女子の部 優勝(寛仁親王妃牌) ～ 第10位、H/G賞・H/S賞
 (H/G賞・H/S賞は予選8ゲームを対象とする)

☆一般男女優勝者は、次年度大会の推薦選手として出場権を有し、大会参加費は主催者側が負担する。
 (尚、交通費・宿泊費等は各個人負担とする)

- ロ. ① 障害者の部 個人戦 男女別 優勝～第6位(個人表彰)
 ② " スカッチトリオ戦 優勝～第5位(ボックス表彰)
 ③ " 特別表彰 10名

☆障害者の部 個人戦男女各上位3名は次年度の一般の部に招待する。(尚、交通費・宿泊費等は各個人負担とする)

6. 中央大会参加費：

- イ. 一般の部 9,000円

☆エントリー後の参加費の返却はいたしません。

☆チャリティー金の500円は参加費にプラスして納入いただきます。

- ロ. 障害者の部 500円

7. 中央大会日程：

日	時	大会内容
11月30日(土)	8:00-8:30	予選Aシフト受付(受付終了後は失格)
	8:50-11:30	予選Aシフト第1シリーズ(4ゲーム)
	10:50-11:20	予選Bシフト受付(受付終了後は失格)
	11:40-14:20	予選Bシフト第1シリーズ(4ゲーム)
	14:40-15:20	開会式
	15:40-18:20	予選Aシフト第2シリーズ(4ゲーム)
	18:30-21:10	予選Bシフト第2シリーズ(4ゲーム)
	21:40-	準決勝進出者発表(男子45名・女子35名)
12月1日(日)	8:20-8:50	準決勝受付(受付終了後は失格、次点繰り上げ)
	9:05-12:10	準決勝(4ゲーム)
	13:00-13:30	男女共 シュートアウト1回戦(第7位～第10位)
	13:40-14:10	男女共 シュートアウト2回戦(第2位～第6位+1名)
	14:30-15:10	男女共 決勝戦
	15:30-16:10	式典・表彰式
12月1日(日)	9:00-9:30	受付
	10:00-10:30	ボウリング・クリニック
	10:35-11:55	個人戦2ゲームトータルピン(男女別)
	12:00-12:40	スカッチトリオ戦(障害者・引率者・プロボウラー)
	13:00-14:10	表彰式 及び レセプション

注意 ① タイムスケジュールは参加者の増減により、変更になる可能性があります。

② 練習ボールは全て10分前にスタート致しますが、開始時間は早まる場合がありますので、スタート30分前には集合して下さい。

③ 駐車料金は1日1台 1,500円となります。

④ 障害者の部についての詳細は、各都道府県事務局及び主催・主管事務局までお問い合わせ下さい。

⑤ 開会式には、入場行進を行う各地区及び関東地区各都県代表者各2名、並びに障害者の部代表者3名は必ず参加して下さい。

8. 競技規定 並びに 競技ルール：

1. 大会に参加できる選手は公益社団法人日本ボウリング場協会の会員で、地区及び都道府県ボウリング場協会より選抜または推薦された選手、団体推薦選手に限る。但し、前年度の一般の部男女優勝者及び障害者の部男女上位3位までの選手は、予選会及び参加費を免除の上参加できる。
2. 参加選手のレーン割振りについては大会実行委員の厳正なる抽選で決定するため、レーンの変更はマシントラブル以外は認めない。
3. スコアの誤りは、競技委員及び当該選手立会いのもとに修正する。
4. アプローチパウダー、その他の物を使用しアプローチの状態を変更してはならない。
5. ボールの持込みは、2バグ迄（ボールの個数は6個迄）を持ち込み可とし、ボールにはテープその他の物を付着させてはならない。（大会使用ボールは検量証携帯のこと）
6. 機械によるピン倒れや不明確なものは、全て再配置するものとする。
7. ファールは次の投球者が投げるまでの範囲で採用し、ファール判定器の故障によって生じたと認められる場合は競技委員が検査し裁定する。
8. ゲームの途中リセット（1ゲームにつき最大2回まで）は必ずボックス内の選手に確認を必要とする。
9. ユニフォームは公益社団法人日本ボウリング場協会加盟センター名又は個人名入りのものを着用のこと。又、選手はスポーツマンとして恥じない品位ある服装で参加し、男子はスラックス、女子はスカート・キュロット・スラックスを着用のこと。
10. スムーズな大会進行を防げないよう、牽制は両サイド1レーンの投球者のみに注意を払い、必要以上の投球間隔をあげないように注意のこと。
11. ハイゲーム・ハイシリーズ・予選・準決勝が同スコアの場合
 - ★ハイゲームについて
 - ①ストライク数の多い方、又同数の場合はスペア数の多い方。尚且つ、同数の場合は該当者全員に進呈する。
 - ★ハイシリーズについて
 - ①ハイシリーズ中におけるゲームのハイ・ロー差の少ない方。
 - ②ハイシリーズ中における全ゲームのストライク数の多い方。尚且つ、同数の場合は該当者全員に進呈する。
 - ★予選・準決勝が同スコアの場合
 - ① その時点における4ゲームシリーズのハイ・ロー差の少ない方を上位とする。
 - ② ①が同数の場合は、ゲームのハイ・ロー差の少ない方を上位とする。
 - ③ シュートアウト・優勝決定戦時が同スコアの場合は、ワンショットプレーオフで勝者を決定する。
ワンショットプレーオフは、そのゲームスタート時点の上位者がレーン・投球順を選択できる。
12. 競技者は競技中の喫煙・飲食を禁止とする。但し、ボウラーズベンチ以外での水分補給は認める。（但し、飲食物はボウリング場内設置の自販機で購入した物に限る。）
13. その他は、通常行われている競技方法によるが、トラブル等が発生した場合は、NBRを採用し、大会役員で協議裁定を行う。

※会場内にはボール置場が無い場合、使用しないボールの場内への持込みは控えて頂き、車内での保管及び、宿泊者はホテルの個々の部屋にて保管をしていただきますようご協力をお願いします。

9. お問い合わせ：

関東ボウリング場協会 事務局

〒140-0004 東京都品川区南品川2-2-10 南品川Nビル3階

TEL 03-6433-3357 FAX 03-6433-3257

「宮様チャリティーボウリング大会」について

在日米軍将兵ボウリング愛好団体が、働く意欲を持ちながら重度の障害のため職場が無く、訓練を受ければ或る程度の自由が利く体になることがわかっているにもかかわらず、施設の不足で収容できず親子共々悩んでいる家庭が数知れない現状を知り、全国各地の基地でチャリティーボウリング大会を開催し寄付金を集めることを申し合わせました。この企画を含めて友愛十字会らが三笠宮杯を計画し、社会福祉法人友愛十字会 主催、日本肢体不自由児協会・カソリック中央協議会・報知新聞社 後援、全日本ボウリング協会他 約20社の協賛を得て、昭和42年4月9日、東京の五反田ボウリングセンターにおいて、三笠宮崇仁親王殿下御台臨のもと、「三笠宮杯争奪チャリティーボウリング大会」が開会されました。この第1回大会より今日に至るまで、毎年予選会・本大会に於いて集められたチャリティー金は、友愛十字会に基金として献金し、身体障害者施設・老人福祉施設の運営、設備費等に役立てられています。